

本資料は（一財）社会変革推進財団との業務委託契約に基づき、SIMIの責任において制作されました。原著の著作権は当該資料を作成した作者にあり、日本語化された資料の著作権は（一財）社会変革推進財団及び（一財）社会的インパクト・マネジメント・イニチアチブにあります。
(<https://simi.or.jp/grc/core-characteristics-of-impact-investing/>)

インパクト投資の中核的な特徴

当文書「**インパクト投資の中核的な特徴**」では、世界的に広がるインパクト投資のアプローチを定義し、金融関係者向けに信頼のおけるインパクト投資とは何を指すのかを明確にします。

どんな投資も、短期や長期で何らかの正か負の社会的・環境的影響をもたらします。投資家は誰も、投資決断によってこうした影響を形成する役割を果たしています。インパクト投資とは、投資資金の力を人々の生活や環境の向上に積極的に役立てるために、投資家が取るアプローチのことを指します。インパクト投資の手法はどのようなアセットクラスにおいても、また期待されるリターンが多様であっても、取り入れることができます。

インパクト投資が効果的に正の社会的・環境的インパクトの創出に寄与し、また今後より多くの資金がインパクト投資に投入されるようになる中でこうした投資アプローチが信頼を得続けるためには、使うべき手法や市場への参加条件を金融関係者に明確に示す必要があります。『インパクト投資の中核的な特徴』では、その定義を示し、投資家の皆様に以下を提供します：

- 市場でインパクト投資アプローチとしての信頼を得るために必要な手法の一覧
- 提携検討中の投資パートナーのインパクト投資アプローチの質と信頼性を判断するうえで、参考になる点

4つの中核的な特徴では、以下の活動に対する共通理解を提供します：

- 実践されているインパクト投資を定義し、インパクト投資をその他の投資から差別化する
- 投資が確実にポジティブなインパクト創出に貢献できるようにする

インパクト投資とは何か

GIINではインパクト投資を、経済的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的・環境的インパクトを同時に生み出すことを意図する投資、と定義しています。インパクト投資には、以下の4つのキーとなる構成要素があります：

- 意図がある：インパクト投資は社会的・環境的ソリューションに意図的に寄与します。この点でインパクト投資は、ESG投資や責任投資、スクリーニング戦略とは一線を画します。
- 経済的リターンがある：インパクト投資では、マーケットレートを下回るものから、リスク調整済みのマーケットレートまで、幅広い経済的リターンを求めます。この点でインパクト投資は、フィランソロピーの活動とは一線を画します。
- 広域なアセットクラスを含む：インパクト投資には広域なアセットクラスが含まれます。
- インパクト測定を行う：インパクト投資の最も特徴的な点として、投資案件の社会的・環境的インパクトを測定し報告することに対する、投資家のコミットメントがあることが挙げられます

インパクト投資の中核的な特徴とは

インパクト投資の中核的な特徴は、GIINの定めるインパクト投資の定義を補足する役割をしています。以下の基本的な4点は、世界を代表するインパクト投資家の方々の協力を得てまとめられ、インパクト投資に期待されるベースラインをより詳しく定義しています。

インパクト投資をする投資家は...

1. 社会面・環境面でポジティブなインパクトの創出に意図的に貢献する
2. エビデンスとインパクトに関するデータに基づいた投資デザインを採用する
3. インパクト実績を管理する
4. インパクト投資分野の成長に貢献する

インパクト投資の中核的な特徴とは

インパクト投資家は、インパクト投資を定義する以下の4手法の実践を遵守します：

1. 投資による経済的リターンと並行して、ポジティブな社会的・環境的インパクトの創出に意図的に貢献する。また、社会的・環境的課題の解決のためのソリューションや機会に意図的に投資する。具体的には以下を含む：

- 経済的な目標とインパクトに関する目標の両方を、透明性をもって設定する
- こうした目標や戦略を設定することを投資テーマとして明示し、実現させる

2. エビデンスとインパクトに関するデータに基づいた投資デザインを採用する。使える範囲内で最適な定量的・定性的なインパクトに関するデータとエビデンスを活用し、ポジティブなインパクトの拡大に寄与する。具体的には以下を含む：

- 過去のエビデンスや確固たる科学研究にもとづく、かつ投資の対象となる現地や環境のコミュニティにより認識されている、社会的・環境的ニーズを洗い出す
- 使用できる限りのエビデンスを活用し、
 - ニーズの改善に、投資がどのように貢献するかを目標を設定する
 - 洗い出されたニーズに応えるために効果的なソリューションや、投資の文脈でネガティブなインパクトが発生する可能性があることへの理解を基に、投資戦略をデザインする
 - 設定された目標の達成状況を把握するための、定量的・定性的な指標を定める

- 活動内容の強化・向上のため、インパクト分析を実施するためのキャパシティーを次第に増やす

3. インパクト実績を管理する。社会的・環境的な目的を達成するため、インパクト実績データを意思決定に活用し、投資マネジメントを行う。具体的には以下を含む：

- 投資サイクル中の各所でフィードバックが実施できるよう、可能な限り設計する
- 事前設定したインパクト目標の達成に関するリスクを把握し、回避プランを作成する
- 投資家の行動によって、負の影響が与えられる事態を回避するよう努力する
- インパクトに関する実際のデータを投資家や投資先に、できる限り比較可能な方法で開示する

4. インパクト投資分野の成長に貢献する。より多くの投資家がインパクト投資を効果的に実施できるよう行動を起こす。具体的には以下を含む：

- こうしたインパクト投資の手法が、実際はどのように実施されているか透明性をもって伝える
- インパクトに関する目標や戦略、実績を表現する際には、共通の通例やアプローチ、スタンダードに準拠することにコミットする
- 新規の共同投資家や投資家に関する意思決定をする際には、インパクト実績やインパクト・マネジメントの手法の質を検討材料に加える
- 専有情報・個人情報を除き、学びやエビデンス、データは正のものも負のものも含め共有する

グローバルインパクト投資ネットワーク(GIIN)について

グローバルインパクト投資ネットワーク(GIIN)はインパクト投資を世界的に推進し、市場規模の拡大と効率の向上に寄与することを目的とした団体です。GIINはインパクト投資への参入障壁を低くすることで、より多くの投資家が世界各国の複雑な社会課題解決のために資金を投入できるよう活動しています。

詳しくは、GIINウェブサイトをご参照下さい www.thegiin.org

ご利用条件

本資料は、一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (Social Impact Management Initiative: SIMI) (以下「当法人」といいます) が運営するSIMIグローバルリソースセンター (以下「本ウェブサイト」といいます) に掲載されているものです。

本ウェブサイトを利用される前に以下の利用条件をお読みいただき、これらの条件にご同意された場合のみご利用ください。本ウェブサイトをご利用されることにより、以下の条件にご同意されたものとみなします。

なお、以下の条件は、予告なしに変更されることがあります。本条件が変更された場合、変更後の利用条件に従っていただきます。あらかじめご了承ください。

1. 著作権について

本ウェブサイト上のすべてのコンテンツに関する著作権は、特段の表示のない限り当法人および当該資料の原著の作者に帰属しております。そのすべてまたは一部を、法律にて定められる私的使用等の範囲を超えて、無断で複製、転用、改変、公衆送信、販売などの行為を行うことはできません。

2. 免責事項

本ウェブサイトは、社会的インパクト・マネジメントに関連する海外の文献や資料を、日本語に訳しまとめたものを、著者及び出版元の許可を得て掲載しています。本ウェブサイトに掲載されているコンテンツは、あくまでも便宜的なものとして利用し、適宜、英語の原文を参照していただくよう、お願いいたします。

誤りのないようあらゆる努力をしておりますが、誤訳、あるいは、掲載されている情報の使用に起因して生じる結果に対して、当法人関係者及び当ウェブサイトは、一切の責任を負わないものといたします。

当法人は、予告なしに、本ウェブサイトの運営を中断または中止、掲載内容を修正、変更、削除する場合がありますが、それらによって生じるいかなる損害についても一切責任を負いません。また本ウェブサイトのご利用によりご使用者様または第三者のハードウェアおよびソフトウェア

上に生じた事故、データの毀損・滅失等の損害について一切責任を負いません。

3. リンクについて

営利、非営利、イントラネットを問わず、本ウェブサイトへのリンクは自由です。ただし、公序良俗に反するサイトなど、当社の信用、品位を損なうサイトからのリンクはお断りします。また事前事後にかかわらず、その他の理由によりリンクをお断りする場合があります。

4. 資料の引用について

本ウェブサイト上に掲載された日本語まとめ、抄訳及び翻訳資料を引用する際には、出典の著作者名として「一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI) グローバルリソースセンター」及び当該資料の原著の著作者名を、併せて明記ください。

なお、引用の範囲を超えられる場合は、当法人および当該資料の原著の著作者に了解を得てください。